

全労金2024春季生活闘争ニュース・第11号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一歩先のステージへ！～

3月11日は「東日本大震災」が発生した日です。

震災を風化させず、防災・減災の取り組みを進めよう！

◎被災地の現状を知ろう！

2011年3月11日14時46分、三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東 130km付近、深さ約24kmを震源とするマグニチュード 9.0・最大震度7の地震が発生しました。

東日本大震災による被害は、死者約15,900人、行方不明 2,520人、震災関連死 3,802人、避難者は47都道府県 845市町村に29,328人、となっています（※警察庁・復興庁公表2024年3月1日）。

復興庁の報告では、切れ目のない支援として、心身のケア、コミュニティの形成等、被災者支援を継続することに加え、被災地沿岸部の中核産業である水産加工業の販路開拓を支援する等、住まいとまち、産業の再生に取り組むこととしています。原子力災害地域においては、事故の収束に向けた対応に加え、避難指示解除に向けたインフラ整備、沿岸部に新たな産業基盤の構築をめざす「イノベーション・コースト構想」、科学技術力・産業競争力強化をけん引することを目的に「福島国際研究教育機構（F-REI）」を構築する等、国が前面に立って中長期的に対応することとしています。

一方で、政府は東京電力福島第一原子力発電所で発生した汚染水を浄化処理した水の海洋放出について、これまで3回に分けて放出しており、2月28日から4回目の海洋放出を実施しています。ALPS処理水は事故で発生した放射性物質を含む汚染水を多核種除去設備（ALPS）等により、トリチウム以外の放射性物質を環境放出の規制基準まで浄化した水であり、安全衛生上の問題はないとされているものの、海洋放出を正しく理解していないことによる農産物買い控え等の風評被害の懸念が残り、地元の漁業関係者や住民等が反対の声を挙げ続けています。

◎「東日本大震災」からの復興・再生に向けた取り組み

全労金は、東日本大震災発生直後から、多くの組合員の協力の下で様々な支援の取り組みを展開してきました。原発事故による被害を受けた福島の支援を目的とした「復興支援／福島応援セット」の斡旋販売、震災を風化させない取り組みとして全労金「災害からの復興・再生集会」を開催する等、全国の仲間と継続して取り組んでいます。

※東日本大震災に関する全労金の取り組み

- ① 労使共同カンパと物資支援
カンパは、全体で49,474,966円を集約し、被災された職員に配分しました。また、物資支援は、全労金単独で1回、労使共同で2回実施し、東北労金へ物資を届けました。
- ② 東北労金の業務支援への人的派遣
労使共同の支援策の1つとして人的派遣を実施しました。派遣は、第1次（2011年4月18～28日）から第12次（9月26日～10月7日）まで継続しました。
- ③ 連合救援ボランティア
連合救援ボランティア第4陣（2011年4月24日）から派遣を開始し、終了する第20次（9月18～24日）まで、延べ64名を全国から派遣しました。
- ④ 福島除染ボランティア
福島市社会福祉協議会「除染ボランティア」に、第1次～第20次（2011年10月29日～12月11日）まで延べ47名が参加しました。
- ⑤ 南相馬ボランティア
「南相馬市災害復旧復興ボランティアセンター（福島県）」と連携し、2013年10月から2016年11月まで、延べ238名の参加で取り組みました。

◎防災・減災の取り組みを進めよう!

東日本大震災発生以降も2016年の熊本地震、2018年の北海道胆振東部地震等の大地震が発生しており、その都度、全国の仲間とともに様々な支援の取り組みを継続してきました。直近では1月1日に令和6年（2024年）能登半島地震が発生し、甚大な被害が発生しています。こうした事態を受け、被災された職員とその家族、被災地への支援を目的として緊急カンパに取り組み、全国の仲間から温かい支援が寄せられています。

私たち全労金は、災害からの復興・再生、震災を風化させない取り組みと併せて、防災・減災に取り組みむことを運動方針に掲げています。現在は、能登半島地震の報道が連日されていますが、時間の経過とともに記憶と関心が薄れていきます。内閣府によれば、近い将来の発生が指摘されている南海トラフ地震や首都直下地震等では広範囲の被害が想定されています。災害の発生を止めることはできなくても、意識して行動することで被害を最小限に食い止めることは可能です。本日は職場の仲間や家族と日常の防災・減災に関する取り組みを話し合う機会としてみてください。

以上

《全労金のSNSでも紹介しています!》

☆ 全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>)



☆ 全労金Facebook (<https://www.facebook.com/zenrokin>)



※次号は3月12日に発行します!